

国立大学法人長崎大学入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	令和3年3月8日(月) 事務局3階 第2会議室	
委員	委員長 赤羽 耕介 (公認会計士) 委員 原田 哲夫(名誉教授) 委員 本田 卓 (国土交通省九州地方整備局 長崎河川国道事務所長)	
審議対象期間	令和元年7月1日 ~ 令和2年6月30日	
抽出案件(合計)	6 件	(備考)
工事(小計)	35 件	今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	0 件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	34 件	
工事希望型競争入札	0 件	
通常指名競争入札	0 件	
随意契約	1 件	
設計・コンサルティング業務(小計)	7 件	
公募型プロポーザル方式	0 件	
簡易公募型プロポーザル方式	0 件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	4 件	
標準型プロポーザル方式	0 件	
一般競争入札	3 件	
随意契約	0 件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	別紙のとおり	

質 問	回 答
<p>1. 国立大学法人長崎大学において発注した建設工事について</p> <p>(事務局より説明)</p> <p>・特になし</p> <p>2. 国立大学法人長崎大学において発注した設計・コンサルティング業務について</p> <p>(事務局より説明)</p> <p>・特になし</p> <p>3. 指名停止等の措置状況について</p> <p>(事務局より説明)</p> <p>・特になし</p> <p>4. 抽出・指定の考え方について</p> <p>(事務局より説明)</p> <p>・特になし</p> <p>5. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議</p> <p>(1)一般競争入札(総合評価落札方式(実績評価型))</p> <p>【(文教町2)総合研究棟(旧工学部2号館)改修機械設備工事】</p> <p>(事務局より資料に基づき概要説明)</p> <p>入札参加者が少ないが、求める参加資格等級を下げる、施工実績の規模を下げる等の工夫、また、発注見通しの事前公表は行っているのか。</p>	<p>等級については、1等級下位まで広げ、実績規模については1/2とし、複数の業者に対し、市場調査を行っているが、実際には、1者の入札参加者に至っている。また、要因として、業者側の、高齢化及び若手の人手不足も問題のようである。また、発注見通しについては、文部科学省HP、長崎大学HP、長崎大学掲示版を使い行っているが、さらに方法がないか検討する。</p>

質 問	回 答
<p>(2)一般競争入札(総合評価落札方式(実績評価型)) 【(坂本2)総合研究棟(旧歯学部本館)Ⅲ期改修機械設備工事】 (事務局より資料に基づき概要説明)</p> <p>2度の入札不調とあるが、再度公告に関して何か緩和等の工夫は行っているか。</p> <p>(3)一般競争入札(最低価格落札方式) 【(坂本1他)熱帯医学研究所等照明設備更新工事】 (事務局より資料に基づき概要説明)</p> <p>予定価格と落札価格の開きが大きいが、積算に関わる諸々の基準に基づく算出に乖離があるようなら、状況に応じて、それらの基準や関連規定の見直しなどの改善を求めているかどうか。また、工事内容によっては、個別に見積による積算とするようなことも検討してはどうか。</p> <p>(4)一般競争入札(最低価格落札方式) 【(坂本2)中央診療棟5階病理固定・サンプリング室等改修電気設備工事】 (事務局より資料に基づき概要説明)</p> <p>分電盤について、今後は既製品の使用も想定した発注は可能なのか。</p>	<p>求める施工実績について、建物種別を増やし、面積規模設定をなくすなどの緩和を行った。</p> <p>予定価格作成について、公共建築工事標準単価積算基準に基づき作成を行っているが、積算基準の改訂は省庁統一基準であり難しいものと思われる。直接工事費は物価資料などの単価表や専門業者から徴収した参考見積書を査定したものを計上し、共通費は公共建築工事共通費積算基準に基づいて算出している。照明器具の更新のみの工種であったことも影響しているものと思われる。ご指摘も踏まえて、検討を行いたい。</p> <p>工事内容や規模により、そのような想定も検討することとしたい。</p>

質 問	回 答
<p>(5)簡易公募型プロポーザル(拡大) 【(文教町2)総合研究棟(旧教育学部本館)改修設備設計業務】 (事務局より資料に基づき概要説明)</p> <p>参加者数が1者なのは、技術者が配置できない等の問題があるか。</p> <p>(6)一般競争入札(最低価格落札方式) 【(長崎大学放射線災害対応センター改修設計業務) (事務局より資料に基づき概要説明)</p> <p>特殊な施設の設計業務で落札価格がこの業者のみ安価だが、他にも、このような実績があったからか。</p>	<p>文科省からの予算措置によるもので、同時期に多数の業務が発注された影響をもあると思われるため、本学の業務においても、同時期に別発注で想定しているものを包括するなどして技術者の配置を考慮した発注を検討したい。</p> <p>これまでに、同種業務の実績があるかは確認できていないが、この業務での受注実績獲得のための企業努力によるところが大きいと思われる。</p>
<p>6. その他 全体的に、落札率のばらつきがあるが、低入札案件については、低入札調査を行い安全確保に努められている。今後とも、さらなる丁寧な取組に努めてほしい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	